

みろくロゲイニング 2011 年 12 月 18 日 香川県さめき市

四国初の本格的ロゲイニング大会は、アウトドア界の異種目交流だった。

2011 年 12 月 18 日(日) 香川県さめき市
みろくロゲイニング

四国でナビゲーションゲームズ

四国初の JOA ナビゲーションゲームズシリーズの 1 戦である、みろくロゲイニングは、香川県東部のみろく公園を会場にして行われた。エリアは東西 9km 南北 6km。ただし山の中の CP はほとんどないので、相当の範囲をカバーできそうだ。名前が興味深い亀鶴公園、倒木で作られた素朴な鳥居のある村の神社、四国 88 カ所の 87 番長尾寺など、歴史ある CP の数々に四国らしさを感じる。

要項が出てからの期間が短かったため、参加チームは 26 チームだが、「車でいけるところならどこでもいきます」三重のハムちゃんこと宮崎ファミリー、松代ロゲも開催している中年トレイルランナーの星古越さん夫妻チーム、ロゲイニング初出場ながら、トランスジャパンアルプスレース出場の女性とアドベンチャーレースの常連で地図も読めるスタコラ山岳部など、多彩な種目のアスリートが同じ舞台を楽しめるのも、ロゲイニングならではの光景。



世界一古いナマズの化石と学芸員のおじさんと一緒に写真を撮るといってお遊びポイントも用意されていた。



最後は牽引までして約 6km の直線道路をひたすら走って男子組 2 位になった「チームみかエース」フィニッシュと同時に倒れ込んだ田濃と涼しい顔の和久田が好対照。

ビハインドを跳ね返す戦略

田島利佳と組んだ当チームは、前半でスタコラ山岳部に 14 点のビハインドを食らったまま、走力差で追いつかれ、苦しい展開となった。中盤以降、ルートバリエーションもなく、走力で若干劣る当チームは、そのままの展開でレースが続けば勝ち目がないが、スピードを上げれば自滅するリスクが高まるというジレンマに陥った。どこで逆転の可能性があるだろう？ 地図読みの要素の少ない広域農道区間では僕は田島に地図読みを任せて、その後の様々な進行と展開の可能性を地図から探っていた。

何度も地図を見直すうちに、スタート時の想定ルートでは時間が余ってしまうこと、逆にその時には全く考慮外だった津田湾付近に展開して、いっきに得点を上げる可能性に思い至った。日頃のトレーニング量が少ないだけに、自滅の可能性もあったが、津田湾最奥の CP42 に 1 時間前につければ、歩いても帰れる。あらゆるリスクの可能性を考えても津田湾展開しかありえない。

スタコラ山岳部とちょっと距離が離れた時に、両チームのルートが別れた。

CP15 から CP20 に向かう時に彼らとすれ違った。僕らは CP20 からまっすぐ津田湾に向かう。彼らは手詰まりが待っている直帰ルートだ。思わずにんまりしてしまう。声には出さなかったが、田島も同じ思いだっただろう。

結果は、87 点の大差がついた。そして有力チームが少なかった男子組を抑えて総合でも最高得点というおまけもついた。ロゲイニングの戦略の醍醐味と奥深さを改めて感じたイベントだったが、ブログでもスタコラ山岳部から「奥深さを感じた」というコメントをいただいた。こんな異種目交流が、オリエンテーリング界だけでなくアウトドア界の活力の一つになると感じた。

(村越 真)